月　日 名前 ／100点

【答え】

【小4】国語 文章問題　説明文 5

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

友だちには「これ、見て。」と言うのに、先生には「これを見てください。」と言います。同じことをつたえるのに、わたしたちは、相手によって言葉をかえています。どうして、そんなことをするのでしょうか。

ていねいな言葉には、相手を大切に思っている気持ちをあらわすはたらきがあります。「見て。」と言われても、「見てください。」と言われても、たのまれていることは同じです。けれど、「ください」がつくと、たのみ方がやわらかくなり、相手に対する思いやりがつたわります。

では、友だちにもいつもていねいな言葉で話せばよいのでしょうか。そうとはかぎりません。仲のよい友だちに「おはようございます。今日はよい天気でございますね。」と言ったら、どうでしょう。友だちは、何だかよそよそしく感じて、とまどってしまうかもしれません。親しい相手には、くだけた言葉のほうが、心のきょりが近く感じられるのです。

つまり、言葉の使い分けは、相手との間のきょりを表すものだと言えます。ていねいな言葉は、相手を大切にしながら、少しはなれた所に立つ言葉です。くだけた言葉は、そばに立って、かたをならべるような言葉です。

だれに、どんな場面で話すのかを考えて言葉をえらぶこと。それが、言葉で相手とよい関係をつくるための、大切な力なのです。

（この問題のための書き下ろし）

問一　ていねいな言葉には、どんなはたらきがありますか。「～をあらわすはたらき」につづくように、本文から二十字までで書きぬきましょう。

相	手	を	大	切	に	思	っ	て	い
る	気	持	ち						

問二　「とまどってしまうかもしれません」とありますが、それはなぜですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　友だちが、「ございます」の意味を知らないから。
イ　親しい相手にていねいすぎる言葉を使うと、よそよそしく感じるから。
ウ　天気の話は、友だちとするものではないから。

イ

問三　ていねいな言葉とくだけた言葉のちがいを、「きょり」という言葉を使って、四十字までで書きましょう。

て	い	ね	い	な	言	葉	は	相	手
と	の	き	ょ	り	が	少	し	は	な
れ	、	く	だ	け	た	言	葉	は	き
ょ	り	が	近	い	。				

問四　この文章の三つ目のまとまり（「では、友だちにも」ではじまるまとまり）は、どんなやくわりをしていますか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　先生への言葉づかいのきまりを、くわしく説明している。
イ　文章全体のまとめを書いている。
ウ　ていねいな言葉がいつもよいとはかぎらないことを、例を挙げて説明している。

ウ

【小4】国語 文章問題　説明文 5　答えと解説

問一（二十五点）　答え：相手を大切に思っている気持ち

解説：二つ目のまとまりの最初の文から。

問二（二十五点）　答え：イ

解説：すぐ前の「何だかよそよそしく感じて」から。ア・ウは本文に書いていない。

問三（二十五点）　答えの例：ていねいな言葉は相手とのきょりが少しはなれ、くだけた言葉はきょりが近い。

解説：四つ目のまとまりから。二つの言葉それぞれのきょりが書けていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①ていねいな言葉は、少しはなれた所に立つ（きょりがある）

②くだけた言葉は、そばに立つ（きょりが近い）

問四（二十五点）　答え：ウ

解説：「そうとはかぎりません」と言い、友だちにていねいに話す例を挙げている。まとめは四つ目・五つ目のまとまり。